東海村 議会だより

第46号
2021.11

目次

９月定例会

検査費用を補助し、成人式を実施 …… P 2
令和２年度決算を審査しました …… P 3
賛否の分かれた議案、討論 …… P 4
村政を問う！〔一般質問〕 …… P 5～11
12 月定例会日程（予定）／マイストーリー …… P12

デマンドタクシードライバー　駅西にて

9月議会あらまし

※全議決結果はホームページでご覧いただけます。

令和３年第３回定例会（９月議会）は、９月 30 日に開会し、10 月 22 日までの会期で開催しました。一般質問は 10 月８日から 12 日の３日間、12 人の議員が質問を行い、また、13 日から 18 日にかけては、予算決算委員会で補正予算と決算を審査し、10 月 22 日に議案審議を行い閉会しました。

議案審議では、主に新型コロナ感染症の対策に伴う一般会計の補正予算など村長提出の議案 33 件すべてを可決しました。なお、令和２年度決算は、一般会計・特別会計・企業会計すべてを認定しました。

また、請願２件を審査し１件を採択、１件を不採択としました。

議会 トピックス

検査費用を補助し、成人式を実施

～安心安全な成人式の開催に向けて～

令和４年１月８日（土）に開催予定の「2022 年成人の集い」の参加者のうち、ワクチンを２回接種していない方に、事前のPCR 検査や抗原検査費用を助成する補正予算を、全会一致で可決しました。

新成人たちが再会し、みんなの笑顔が溢れる素晴らしい集いとなることを願っています。

〇抗原検査等助成金　320 万円

新型コロナウイルス感染症対策事業を継続実施

村内の中小企業に対し引き続き支援を継続するため、感染症予防対策支援補助金の実施期間を延長するための補正予算を可決しました。

〇新型コロナウイルス感染症対策事業　2,500 万円

村のお金の使い方を check！
令和２年度決算を審査しました

９月議会では、前年度の決算（歳入・歳出の実績）について審査をしました。
決算審査とは、議会が決定した予算について執行状況の実績や効果を審査・評価することです。当議会では一般会計予算決算委員会と特別会計予算決算委員会に分けて、委員会に付託して審査します。
委員会で出された決算に対する意見の一部を紹介します。

一般会計

認定

歳入 249億円 / 歳出 242億円

意見と今後留意すべき事項

- ●*RPA による業務をさらに推進し業務改善を行うとともに、職員の時間外勤務削減、年次休暇の取得率の向上に努めること。
- ●ウィズコロナ時代を視野に入れた委託料・補助金の見直しを進めること。
- ●*シティプロモーションはターゲットを絞り、見える化を意識し事業を進めること。
- ●生物多様性促進事業は、村内の環境団体など多くの住民を含めた活動とすること。

特別・企業会計

認定

国保／介護／下水道／病院など 全10会計

意見と今後留意すべき事項

- ●コロナ禍の影響で介護相談員派遣事業等は実施回数が減ったが、今後も事業継続に努めること。
- ●安全な水の供給を維持するため、計画的な点検を実施して適正な維持管理に努めること。
- ●常勤医師の確保に努めるとともに、引き続き経常経費の抑制に努めること。

討論

大名 美恵子 議員

◆認定第１号　反対討論

水道料金２カ月分助成等は評価する。しかし障がいのある方や難病患者さん等への助成制度廃止、地域包括支援センターの民間委託の検討、公立幼稚園統廃合計画の公表など、村の一方的な村政運営は改めることが必要。

◆認定第２号　反対討論

法改悪により県が標準保険料率を示し、これを参考にして村は税の算定を行った。これにより現状のような高い保険税で黒字を維持する決算となっている。一般会計からの法定外繰り入れで税引き下げを行うべきだった。

◆認定第４号　反対討論

保険料は基準額で当初の約2.5倍。介護区分は要支援１と２が追加されサービスは縮小された。その後、介護予防日常生活支援総合事業に移行。高齢者にも現役世代にも痛みを押しつけることは認められない。

*RPA … ロボティック・プロセス・オートメーションの略。定型業務の自動化のこと。
* シティプロモーション … 地域の魅力を PR するために自治体が行う営業活動のこと。

各議員の賛否（議案などで賛否の分かれたもの）

議案等名＼議員名	新政とうかい											光風会		公明党					結果
	鈴木 昇	飛田 静幸	舛井 文夫	大内 則夫	越智 辰哉	河野 健一	武部 慎一	吉田 充宏	寺門 定範	笹嶋 士郎	三上 修	江田 五六	恵利 いつ	岡崎 悟	植木 伸寿	大名美恵子	村上 孝	阿部 功志	
請願第3-4号	×	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	○	不採択
議案第61号	○		×	×	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
認定第　1号	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	認定
認定第　2号	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	認定
認定第　3号	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	認定
認定第　4号	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	認定

○…賛成　　×…反対　　※議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します。

賛否の分かれた議案などの名称と要旨

請願第3－4号	「安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書」を国に提出することを求める請願
	「安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書」を国に提出することを求めるもの
議案第61号	工事請負契約の締結について（第03－23－204－K－806号　中央地区　94街区ほか基盤整備3期工事）
	中央地区94街区ほか基盤整備3期工事に伴い請負契約の締結をするもの
認定第1号	令和2年度東海村一般会計歳入歳出決算の認定について
認定第2号	令和2年度東海村国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第3号	令和2年度東海村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第4号	令和2年度東海村介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

討論

討論とは…　自分の意見（賛成または反対）を表明し、その意見に反対する議員、賛否の意思を決めていない議員を、自分の意見に賛同させることを目的に行うものです。

請願第3－4号

賛成　光風会　江田　五六　議員

新型コロナウイルスで命と健康が脅かされている。この深刻な事態解消を求める請願である。国の地域医療構想により、東海病院は再編成の対象になっている。東海病院の存続は必要であり、医師・看護師を増やすべき。

賛成　大名　美恵子　議員

新型コロナ禍で、日本の医療体制の脆弱さと医療従事者が命を削ってまで仕事をしなければならない過酷さを目の当たりにした。本請願は社会保障の充実を求めて住民のいのちと健康を守ろうとするあたり前の請願。

賛成　阿部　功志　議員

コロナの医療現場では関係者が過労死ぎりぎりの状態で献身的に対応しているが、委員会は現場の切実な声に無関心で、不採択の理由ばかりを見つけているようだ。だがこれは制度の話というより、なまみの人間の話だ。

議案第49号　令和3年度東海村一般会計補正予算（第4号）

賛成　光風会　江田　五六　議員

新型コロナ対策費用が含まれている事は評価する。ただし、歴史と未来の交流館の電気料金410万円の追加予算は、オープン1年目であることを考慮に入れても、他の公共施設と比べて多い。十分に精査し節電に努めること。

議案第61号

反対　新政とうかい　大内　則夫　議員

議案第61号の工事内容や受注業者に反対していない。入札状況を見て制度に問題がある。入札参加業者の数を増やせば、公平性や競争性が担保されるとは思えない。今回の議案を契機に、入札制度の改革を図ってもらいたい。

村政を問う！ 一般質問

恵利　いつ　議員　P.6
1　キャッシュレス決済ポイント還元事業を終え、どのように評価しているか
2　教育現場におけるタブレット活用の状況と見えてきた問題点は
3　通学路の安全対策と歩行者にやさしい道づくりに対する村の取組状況は

植木　伸寿　議員　P.6
1　コロナ禍における今後の対応は
2　ゼロカーボン戦略への取組状況は
3　自然災害への対策に向けた考えは
4　国道６号線拡幅に向けた取組は

鈴木　舜　議員　P.7
1　東海村長選挙の評価
2　地方再犯防止推進計画の策定
3　村松コミセン側の旧幼稚園と旧保育所の今後の活用
4　照沼小の学区外児童の増加
5　地域活動の再開のきっかけ（支援）

武部　愼一　議員　P.7
1　学校運営協議会の現状と今後
　－ コミュニティ・スクール －
2　次世代に向けた人材育成
　－ GIGA スクール・Society5.0 －
3　多種多様な地域連携
　－ 自治体と地域連携 －
4　東海村のまちづくり
　－ コンパクトシティ・スマートシティ －
5　脱炭素化への対応
　－ 住民が担う具体的な対応 －

舛井　文夫　議員　P.8
1　市街化調整区域の見直し
2　東海駅周辺の環境整備
3　東海駅西口入口交差点に右折信号機設置
4　歴史と未来の交流館展示
5　駅東大通り五反田線の延伸
6　観光案内板の掲示再開
7　太陽光（メガソーラー）の現在の状況
8　名誉村民について

※青字の質問を掲載。
※議会ホームページでもご覧いただけます。

東海村議会　検索

大名　美恵子　議員　P.8
1　政治姿勢：新発想で大胆に理想のまちへの挑戦とは
2　政治姿勢：新型コロナウイルス対策について
3　政治姿勢：東海第二原発の再稼働問題への基本的立場および６首長懇を含めた対応
4　政治姿勢：東海第二原発の廃炉後の村づくりをどう考えるか
5　政治姿勢：ジェンダー平等社会の実現に向けて重視することは

村上　孝　議員　P.9
1　農業政策における補助のあり方
2　ウィズコロナ禍を見据えた教育の対応

大内　則夫　議員　P.9
1　村松小学校１０８階段の水溜まり解消
2　真崎十文字付近の雨水排水対策
3　東海太鼓保存会の練習場所

三上　修　議員　P.10
1　エネルギーのまちの責務
2　高齢者と弱者を守るシステムの強化
3　買い物難民対策

阿部　功志　議員　P.10
1　コロナ感染に対する村の対策は
2　使用済燃料の貯蔵、原電の工事など
3　村長の原発に対する考えに変化は
4　広域避難計画の実効性は
5　役場の一般駐車場に屋根の設置を
6　歩道の草刈り、ボラードの設置、信号時間是正など、道路安全整備は

吉田　充宏　議員　P.11
1　山田村長の掲げる理想のまちへの挑戦
2　庁舎維持管理計画について
3　行政における働き方改革
4　阿漕ヶ浦公園周辺の整備

岡崎　悟　議員　P.11
1　村長が目指す「若い世代に選ばれるまちづくり」とは
2　個別の福祉から「暮らし」を支える取組
3　少人数教育に関連して伺う
4　村内産業への人材確保
5　「安心して住み続けられるまち」について
6　ストリートピアノの設置

＊キャッシュレス決済ポイント還元事業 … 決済金額の30％相当のポイント（上限あり）を還元するもの。

問 当初予算1.6倍増、どう評価する

答 還元事業、３つの目的を達成

光風会
恵利（えり） いつ 議員

問 **＊キャッシュレス決済ポイント還元事業に対し、事前の調査・準備不足を3月議会で指摘した。予算額約3600万円でスタートしたが、想定を上回るポイント還元額が見込まれ、約2000万円を増額補正した。当初予算の1.6倍になった本事業をどう評価するか。**

答 「キャッシュレス決済の推進、消費喚起による事業者支援、消費者への生活支援」を達成できた。参加事業者からは、非常に助かったとの意見が多く寄せられた。消費喚起策として、割引キャンペーンやプレミアム商品券等の選択肢があるが、事業者の業種や規模等により一長一短ある。

問 **買い物客が増え、売り上げが上がったとの声はある。しかし、住民にどの程度還元されたかもつかめない。税金を投入するからには、青天井の事業にならないように慎重に取り組むことが必要。課題や反省点は。**

答 想定を超える利用実績となったことは良かった反面、結果としてポイント還元額の予算見積が過少であった。

PayPayは、6月で終了。ポイント（お金＝税金）は、住民だけではなく村外からの利用者にも還元された。

問 家庭用蓄電池設置への支援は

答 支援策を調査・模索する

公明党
植木（うえき） 伸寿（しんじ） 議員

問 **村は、二酸化炭素排出削減にどう取り組むのか。計画では、家庭用太陽光発電など効果的な導入を検討するとしているが考えは。**

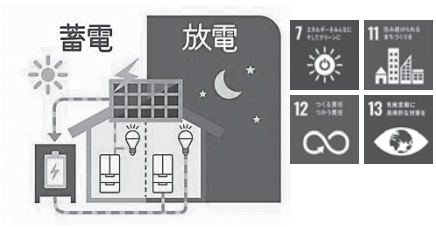
答 第3次東海村環境基本計画で削減対策の想定や目標値を設定した。ゼロカーボンシナリオの構築に向け取り組む。具体的には必要に応じ、家庭における省エネ・創エネ機器の普及を図りたい。

問 **太陽光発電システムの設置者は、機器に付随する処理や寿命の件に加え、FIT契約終了後のことも認識すべきと考えるが。**

答 太陽光発電はプラス面ばかりでなく負担面もある。有効活用するためには、各人の生活スタイルを踏まえた導入方法の検討が必要。

問 **今後は、脱炭素社会に向け太陽光発電とともに、家庭用蓄電池設置の支援も進めるべきと考えるが見解は。**

答 蓄電池は、太陽光発電との組み合わせにより効果的な活用が見込めるが高価であるなど課題がある。先進事例を調査するなど家庭用蓄電池の普及に向けた支援策を模索したい。



環境にやさしい電気の有効活用を

一般質問

問　期日前投票所は役場以外にも設置

答　試験的設置場所の検討を進める

新政とうかい
鈴木（すずき）　晃（のぼる）　議員

問　投票率向上のために期日前投票所を役場以外に設置できないか。

答　期日前投票所の増設は、有権者の利便性を向上させ、投票所の密を緩和する点で感染症対策にも資すると考える。なお、役場以外の設置には、新たな期日前投票所をオンラインで結び二重投票防止の対応を取る必要がある。2箇所の投票所を適正に管理運営できることを検証するため、令和4年執行予定の茨城県議会議員一般選挙で試験的に実施する方向で、設置場所や設置日数、管理体制の検討を進める。

問　地方再犯防止推進計画の策定は

答　検討の場を設けて協議する

問　地方再犯防止推進計画を本村でも策定すべきと考えるが。

答　平成28年12月に施行された再犯防止等の推進に関する法律において、県や村が策定するよう努めるとされている。茨城県ではすでに令和3年3月に策定しており、村では庁内で検討の場を設けて協議を進めていく。

期日前投票所

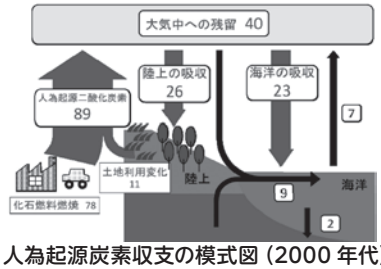
問　脱炭素化に向けた対応と役割分担

答　現状調査を継続し地域連携で実施

新政とうかい
武部（たけべ）　愼一（しんいち）　議員

問　脱炭素化への対応では、従来の調査を継続して確かな炭素の排出量とグリーン化による吸収量の推計等、炭素の循環におけるバックグラウンドを把握することが重要である。また、脱炭素化を目指すには、住民や実施主体への理解活動や協力依頼が必要である。さらに、脱炭素を実施する事業者や住民等の役割分担と削減効果をまとめるためには、村が中心となり、委員会、住民、事業者が協力していくべき。村の考えを伺う。

答　脱炭素化社会は従来施策だけでは到底達成できるものではなく、今後より一層の強力な施策推進が必要。まずは、これらの現状把握をより確かな制度により再確認し、調査を継続的に実施する。地球温暖化による影響は、近年頻発する異常気象をもたらし日常生活への影響も大きくなりつつある。脱炭素化社会の実現のため、村が中心となり必要な施策の実行など、住民・事業者の理解・協力のもと、地域連携により取り組みを進めていく。



人為起源炭素収支の模式図（2000年代）
出典：気象庁HP 炭素循環概略図より抜粋

問　駅東大通り五反田線の延伸は

答　都市計画に基づき事業中止とした

新政とうかい
舛井（ますい）　文夫（ふみお）　議員

問　国道245号や村松宿地区とのアクセスを含めて五反田線の延伸に対し村の考えは。

答　本村における都市計画は、東海村都市計画マスタープランに基づき推進している。計画では、村松地区周辺の自然環境との調和や既存の地域コミュニティの維持、東海十二景に指定されている細浦など良好な景観の保全、国道245号の整備促進などが謳われていることから、五反田線の延伸に関しては事業を中止している。なお、現在は阿漕ヶ浦公園の道路及び駐車場整備を進めている。

問　駅西口交差点に右折信号機設置を

答　設置の実現に向け進んでいる

問　地域の利用者から右折信号機の設置要望が出ているが、村はどう対応したのか。

答　窓口であるひたちなか警察署より、本年8月には右折矢印信号増灯の上申を県警本部へ行ったとの回答を得ている。設置の実現に向け進んでいるものと認識している。

右折信号設置が望まれる東海駅西口入口交差点

問　性の多様性を認める社会の実現を

答　「性の多様性の尊重」が基本方針

大名（おおな）　美恵子（みえこ）　議員

問　村がめざす「村民一人ひとりが幸せを育むことができるまち」でも、性の多様性を認める社会の実現は重要。政策決定の場の職員の男女比はどうか。ジェンダー平等の庁内外への浸透に重要なことは何か。

答　第5次東海村男女共同参画行動計画で「性の多様性の尊重」を基本方針にかかげ、行政サービスにおける対応促進を重点施策とするなど継続的に取り組んでいる。政策決定の場に女性職員がいないということはなく、決定過程で多くの女性職員の考えが反映されている。充実したテーマや内容の講演会などで普及に取り組む。

問　政策決定の場である庁議や東海村防災会議に女性はいるのか。

答　庁議や東海村防災会議には、現在女性が選任されていないものの、決定への過程では多くの女性の声や思いが反映されている。

管理職への登用・人員配置は能力重視を第一に、一定の業務経験や実績を重ねた職員の中から政策的に行われるもの。

東海中で性的マイノリティーを学ぶ

問 農業政策における補助のあり方は

答 農家の実情に合った支援を講ずる

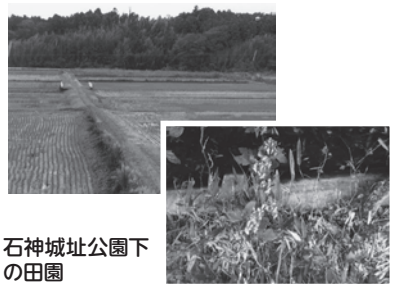
村上（むらかみ） 孝（たかし） 議員

問 農業経営の厳しい現状と担い手不足の中で農業の維持をどのように進め、農業者への補助をどのように考えているのか。

答 人・農地プランにて基幹となる農業者に農地集約を図るとともに、実情に応じた支援策を講じていく。

問 就農者人口の減少や高齢化が加速する中で国は農地利用の促進を図るため、集落営農活性化プロジェクト促進事業を新設している。すでに実施している東広島市などでは5戸3ヘクタールの小さなグループで、資材や農機具の共同購入ができるシステム作りを実施している。本村の農業は大農家が高齢で担い手が見つからない農地の受け皿になっていることを十分理解し、農業者の現状を踏まえた補助を進めるべきではないか。

答 集落営農化することで生産コスト軽減により持続可能な農地利用につながることは認識しており、今後国でも集落営農活性化に対する取り組み支援の見通しがあることから動向に注視する。



石神城址公園下の田園

問 村松小108階段の水溜まり解消を

答 冬季の通学前に解消する

新政とうかい
大内（おおうち） 則夫（のりお） 議員

問 この階段の水溜まりは開校当時から問題になっていた。以前から担当課に改善を求めてきたが、改善されず冬季は凍結し危険なままである。子どもたちの安全をどう考えるか。

答 令和2年4月に階段西側で対策工事を実施したが依然として浸水は収まっていない。階段内部への侵入は許容しながら、踏面に水が溜まらないよう止水する工事を試行的に実施して冬季の通学前には完成させたい。

問 東海太鼓の練習場所の確保を願う

答 東海文化センターが最も相応しい

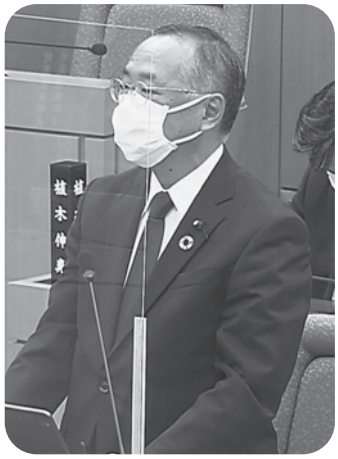
問 東海太鼓保存会は平成4年に役場からの依頼を受けて設立した。会員は現在、小・中学生・高校生を含めて30人で村のイベントや伝統文化活動を継続的に行っている。しかし、現在の練習場所では大きな音や保管場所が課題となっている。

答 長年の課題として承知している。支援を検討する中で東海文化センターが活動拠点として相応しいと考える。

東海太鼓保存会の東海文化センターでの演奏風景

問 高齢者と弱者を守る仕組みの強化

答 状況を注視し柔軟に対応する



新政とうかい
三上（みかみ） 修（おさむ） 議員

問 民生委員や児童委員制度は長きにわたって住民を守り続けてきた日本独自の優れたシステムだが、近年は委員の成り手が少なく問題が顕在化している。

委員の選任は、その業務の内容から誰にでも委嘱できるものではない難しさがある。また、自治会長が委員探しをすることが難しい時代となってきた。委員不足解消のために各地域に福祉推進者を配置する水先案内人方式や委員の退任年齢の引き上げも考えられるが、村の対策方針は。

答 本村では広く啓発活動を行っているほか、民生委員経験者や民生委員顧問とも相談しながら対応策を検討中。今後は、地域福祉に対してより意識の高い団体等に対し、委員活動の紹介と個人情報の取り扱いを含め業務内容を丁寧に説明する機会を作る。同時に地域住民にも同様の場を設け、委員の成り手となるような人材確保に引き続き努める。

なお、委員退任年齢の見直しは、現在の民生委員の意見を踏まえて慎重に検討する。

民生委員・児童委員は地域の身近な相談相手
※写真はイメージ

問 避難所１人当たりの広さ見直しは

答 県は避難先拡充と環境改善を検討

阿部（あべ） 功志（こうし） 議員

問 水戸市や常陸太田市は、避難先での１人当たり居住面積を４㎡に見直すが、本村は。

答 県として、周辺６県の避難先確保と避難所の環境改善に向けた検討を進めている。

問 「避難計画は実効性が不十分でもできたことにして後から直せばいい」という考えに対して村長の見解は。

答 実効性の検証には広域的な避難訓練も必要。実効性確認・向上に継続的に取り組む。

問 通学路の歩道の草刈りは回数増を

答 通学路は優先順位を検討する

問 豊岡から岡への道や石神外宿の６号から原電通りへの道は、草が伸びれば通行が不可能になる箇所があって危険。予算確保の上、草刈り回数を増やして。

答 除草は年２回実施だが、通学路は児童生徒の安全に関わるので、時期を見極めながら優先順位を検討する。

問 通学路である合同庁舎前交差点や舟石川小入り口交差点に防護杭の整備を。

答 今年度は舟石川小入り口交差点と岡交差点に設置の予定。

防護杭が設置される
舟石川小入り口交差点

問 村松地区周辺地域の将来の実現は

答 多くの住民の夢と希望を実現する

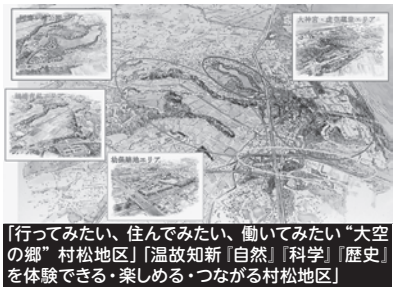
新政とうかい
吉田（よしだ） 充宏（みちひろ） 議員

問 計画策定委員会で議論された結論と計画の実現に向けた課題は。

答 17回にわたる協議結果を「村松地区周辺地域活性化計画」としてまとめた。計画の内容は阿漕ヶ浦公園エリアのほか大神宮・虚空蔵堂エリア、細浦青畝エリア、幼保跡地エリアの4圏域について将来の好ましい姿などを記載し、新たな住民組織をつくった上で、適切な役割分担のもと取り組む。課題はNPO法人、関係機関、行政が情報交換と連携によるネットワークの形成である。

問 本計画は山田村長が言われる「あらたな発想」による住民目線での事業推進と認識している。多くの住民が関わり地域が期待する計画だからこそ、中長期スケジュールを作成し住民が共有できるようにすべき。

答 本計画は行政計画ではない。また、案件によっては事業者や国などとの調整が必要であることから各エリアの年次計画は定めていないが、連携を取り調整を重ねる中でスケジュール等が固まると考えている。



村松地区周辺地域の将来デザイン

問 小学校の全学級を少人数学級に

答 県に要望して体制を整備したい

公明党
岡崎（おかざき） 悟（さとる） 議員

問 本村では、石神小学校4年生の1学級と舟石川小学校3年生の2学級が、1学級40人の学級編制になっている。コロナ禍の中で今後2年から3年は、感染症対策を取りながらの学校生活になると考える。今こそ少人数学級の取組が必要な時である。村の考えは。

答 本村では1学級40人の学級が、小学校には3学級ある。現在は県の制度により担任とティームティーチングを行い、きめ細かな指導ができるよう、非常勤講師が1学級に1人ずつ配置され、多くの授業で学級を2つの少人数に分けて、密にならない環境で学習できるよう配慮している。来年度は県に対し、石神小の40人1学級を2学級に、舟石川小の40人2学級を3学級に分けて、指導ができるように、少人数学級編制のための加配教員の配置を要望したい。要望が通らなかった場合は、村雇用のスタディサポーターを併用しながら、年度当初から、少人数に分けての指導ができるような体制を整えたい。

少人数教育を受ける子どもたち

東海村 議会だより
2021.11 第46号

表紙写真の紹介

今回の「働く人」は、デマンドタクシーの運転手さんです。
ドライバーさんは、利用者が安心して移動できるよう女性の視点を活かし気配りも忘れません。これからも安全第一で頑張ってください！

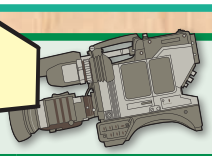
傍聴からはじめよう！

どなたでも傍聴できます。
役場議会棟2階にお越しください。（受付は 30 分前から）

傍聴の定員は 20 名

12月定例会日程（予定）

村内各コミセン
総合福祉センター「絆」
でライブ配信中



期　日	時　間	内　容
12 月 1 日（水）	午前 10 時～	開会
12 月 9 日（木）	午前 10 時～	一般質問
12 月 10 日（金）	午前 10 時～	一般質問
12 月 13 日（月）	午前 10 時～	一般質問

期　日	時　間	内　容
12 月 14 日（火）	午前　9時～	予算決算委員会
12 月 15 日（水）	午前 10 時～	予算決算委員会
12 月 20 日（月）	午前 10 時～	議案審議

※日程は変更になる場合があります。

マイストーリー SNAPSHOT Vol.1

【秋の思い出】

村内の秋の風景をご紹介します。
たくさんのご応募ありがとうございました。

さんぽ途中に大好きなイモ畑にて

のどかにお散歩

生まれたての歴史と未来の交流館

つり公望が集まる前谷ため池

みなさんの「冬の思い出」写真を募集します。

〈応募方法〉メールまたは郵送でご応募ください。
〈郵 送 先〉〒 319-1192　那珂郡東海村東海 3-7-1 東海村役場議会事務局
〈応募条件〉村内在住・在勤の方　〈必要事項〉①写真　②応募用紙（議会ホームページからダウンロードできます。）
〈メール先〉gikaijimu@vill.tokai.ibaraki.jp　〈募集期間〉令和3年 12 月 25 日まで

令和 3 年 11 月発行　●発行 / 東海村議会　●編集 / 議会報編集委員会
●〒 319-1192　茨城県那珂郡東海村　東海三丁目 7 番 1 号
●TEL　029-287-0844　●FAX　029-287-2305
●東海村議会ホームページ　http://www.vill.tokai.ibaraki/tokaimuragikai/

議会報編集委員会
委員長　寺門　定範　副委員長　植木　伸寿
委員　大名美恵子　江田　五六　越智　辰哉　河野　健一　三上　修

UD FONT